

計画の進捗管理

本計画を適切に推進していくため、毎年各指標のフォローアップを実施しながら、PDCAサイクルに基づく評価、見直しを行っていきます。

01

計画策定
施策の策定

Plan
(計画)

02

施策の推進

Do
(実行)

PDCA
サイクル

Action
(改善)

03

目標値の達成状況
の確認
社会情勢の変化

Check
(評価)

04

施策の見直し
計画内容の見直し

秋田市中心市街地活性化プランについての詳細は、下記にお問合せください。



秋田市都市整備部都市総務課
TEL:018-888-5762

詳細は、秋田市のホームページに掲載しています。

秋田市中心市街地活性化プラン



概要版

秋田市中心市街地活性化プラン

集い・楽しみ・住み・創る、選ばれるまち。 ～城下町ルネサンスの継承～

秋田市中心市街地活性化プランとは

本計画の趣旨

秋田市では、これまで中心市街地の活性化に向けた取組を官民一体となって行っており、人口の増加や地価の上昇といった成果が現れ始めています。

中心市街地に見えてきたこの好機を逃さず、課題を検証した上で、本市をイメージする「顔」、コンパクトシティの核として、今後も継続して活性化に取り組むため、「秋田市中心市街地活性化プラン」を策定しました。

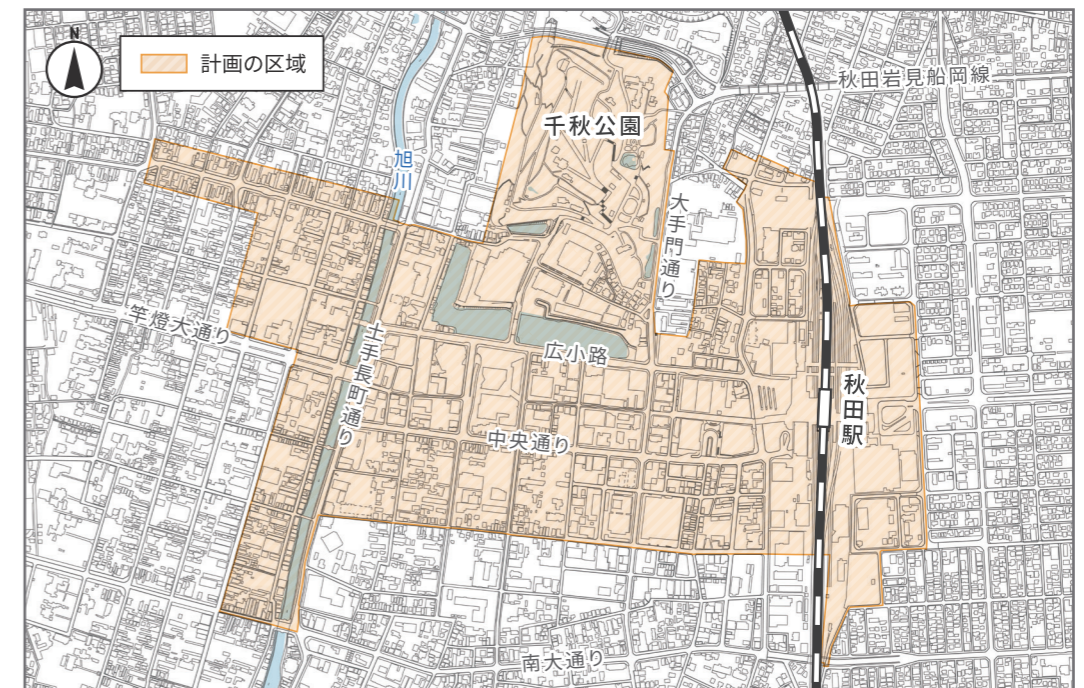
今後は、本計画に基づき、中心市街地の活性化に向けて各種施策に取り組みます。

計画期間

本計画は、令和5年4月から令和10年3月までの5年間を計画期間とします。

計画の区域

本計画では、「秋田市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）」を踏襲し、下図に示す約115haの範囲を計画の区域とします。



中心市街地活性化の基本コンセプト・将来像(イメージ)

中心市街地活性化の基本コンセプトを、にぎわいにあふれ、芸術文化と触れあえる、集いや楽しみの場として、あるいは居住の場や創業の場、まちづくりなどに関する市民活動の場として、様々な場面で今以上に選ばれる中心市街地となることを目指し、「集い・楽しみ・住み・創る、選ばれるまち。」と設定しました。



目標	番号	事業名	事業種	事業期間					事業主体	
				R5	R6	R7	R8	R9	市	民
芸術文化が香るまち	41	5 あきた芸術劇場管理運営費	ソフト							●
	42	芸術文化のまちづくり推進事業	ソフト							●
	43	7 あきた芸術劇場3周年記念事業	ソフト							●
	44	「美術館の街」活性化事業	ソフト						●	
	45	5 秋田市立千秋美術館改修工事	ハード						●	
	46	民俗芸能伝承館経常事業	ソフト						●	
	47	5 佐竹史の魅力発信事業	ソフト						●	
	48	5 佐竹史料館改築事業	ハード						●	
	49	7 佐竹史料館開館準備経費	ハード						●	
	50	7 佐竹史料館常設展・教育普及等事業	ソフト						●	
	51	7 佐竹史料館企画展開催事業	ソフト						●	
	52	新 大森山アートプロジェクト推進事業	ソフト						●	
	53	障がい者アート活動支援事業	ソフト						●	
	54	6 秋田市国際フェスタ	ソフト						●	
暮らしたくなるまち	55	秋田市住宅リフォーム支援事業	ソフト						●	
	56	秋田駅東口駅前広場施設改修	ハード						●	
	57	5 千秋久保田町地区優良建築物等整備事業	ハード							●
	58	秋田市空き家定住推進事業	ソフト						●	
	59	秋田駅西北地区土地区画整理事業	ハード						●	
	60	7 子育て交流室の運営	ソフト						●	
でチャレンジできるまち	61	7 子ども広場運営事業	ソフト						●	
	62	中心市街地等空き店舗対策事業	ソフト						●	
	63	中心市街地出店促進融資あっせん事業	ソフト						●	
	64	チャレンジオフィスあきたの運営	ソフト						●	
	65	商工業振興奨励措置事業	ソフト						●	
	66	5 新規立地企業オフィス確保支援事業	ソフト						●	
	67	6 サテライトオフィス誘致推進事業	ソフト							●
	68	新 LISH AKITA	ソフト							●
つくるまち	69	文化創造プロジェクト	ソフト						●	
	70	文化創造館管理運営経費	ソフト							●
	71	アルヴェきらめきパフォーマー事業	ソフト						●	
	72	市民協働・市民活動支援事業	ソフト						●	

新規事業 事業数：27 事業種 ハード事業数：12 ソフト事業数：61 事業主体 市：34 民：38
 (ハードとソフトを兼ねた事業があるため、合計は事業数と合わない)

※新規事業：令和4年度以降に実施、本格化した事業（5 6 7：表示年度から掲載の新規事業、新：令和8年度の新規事業）
 ※リストに掲載されている事業のほかに、各種団体による中心市街地活性化に資する取組が実施されており、これらの取組についても中心市街地活性化に寄与しており、必要に応じ、情報共有や連携などを図ってまいります。

事業リスト

目標	番号	事業名	事業種	事業期間					事業主体	
				R5	R6	R7	R8	R9	市	民
	1	中心市街地魅力アップ事業	ソフト							●
	2	ギュギュっとあきた週末イベントリレー	ソフト							●
	3	ヤートセ秋田祭	ソフト							●
	4	6 なつかし資料活用事業	ソフト							●
	5	これが秋田だ！食と芸能大祭典	ソフト							●
	6	新 まるっと秋田博	ソフト							●
	7	秋田犬ふれあい処 in 千秋公園	ソフト							●
	8	千秋公園蓮の花ライトアップ	ソフト							●
	9	千秋公園桜まつり・つつじライトアップ	ソフト							●
	10	新 千秋公園魅力アップ推進事業	ハード ソフト							●
	11	秋田竿燈まつり	ソフト							●
	12	クルーズ船おもてなし態勢の充実事業	ソフト							●
	13	まちなか観光案内所運営経費	ソフト							●
	14	7 「酒と発酵」テーマの飲食イベント	ソフト							●
	15	官民連携秋田駅周辺活性化事業	ソフト							●
	16	秋田市民交流プラザ等修繕	ハード							●
	17	高齢者コインバス事業	ソフト							●
	18	千秋公園整備事業	ハード							●
	19	秋田駅前北第一地区市街地再開発事業	ハード							●
	20	新 AKITA まちなかウォークابل実証事業	ソフト							●
	21	中心市街地循環バス運行事業	ソフト							●
	22	7 道路維持修繕事業（市道千秋久保田町山崎線舗装改良）	ハード							●
	23	新 商店街・地域中小企業団体等消費拡大支援事業	ソフト							●
	24	新 秋田駅前大型商業施設消費喚起支援事業	ソフト							●
	25	ノーザンステーションゲート秋田（秋田駅周辺のにぎわい創出事業）	ソフト							●
	26	5 広小路バザール	ソフト							●
	27	千秋蓮まつり	ソフト							●
	28	千秋花火（あきた元気祭り）	ソフト							●
	29	なかいち芸術文化施設連携事業	ソフト							●
	30	5 ノーザンステーションゲート秋田（秋田駅東口エリアにおける自社用地活用の検討）	ハード							●
	31	通町草市	ソフト							●
	32	通町通の市	ソフト							●
	33	招福狐の行列	ソフト							●
	34	通な花見で春らんまん	ソフト							●
	35	商店街スゴロク	ソフト							●
	36	秋田市商店街共通駐車券	ソフト							●
	37	仲小路の夏まちなか夜市	ソフト							●
	38	仲小路の秋まちなかハロウィン	ソフト							●
	39	星辻神社だるま祭り	ソフト							●
	40	新 アムズ（旧福祉相談センター等の利活用）	ソフト							●

人々が集いにぎわうまち

また、今後は第2期計画までに整備した施設を活用して活性化を図っていくことになるため、第2期計画の基本コンセプトを踏まえ、サブテーマを「城下町ルネサンスの継承」としました。

※第2期計画の基本コンセプト：

「千秋公園（久保田城跡）と連携した城下町ルネサンス（中心市街地再生）～新たな市民文化を育む多世代が交流するにぎわい拠点の形成～」



中心市街地活性化の目標

基本コンセプトである「集い・楽しみ・住み・創る、選ばれるまち。」の実現に向けて、中心市街地の現況、抱えている課題から、中心市街地活性化のための5つの目標を設定しました。

目標 01 人々が集いにぎわうまち

今後の取組方針

各種イベントなどによるにぎわいの波及

■ 今後の主な取組

広小路バザール

歩行者天国の広小路にテントマーケットなどが並ぶ

まるっと秋田博

県内の豊かな伝統芸能と食文化・トップスポーツなどを集結したイベントの開催により交流人口の拡大が期待される



■ 期待される効果

- ✓ 市民や観光・ビジネスなどで訪れるさまざまな人が中心市街地へ訪れる機会・目的を創出します。
- ✓ イベントに訪れた人々が会場のみならず中心市街地を周遊することで新たな魅力を発見します。
- ✓ イベント時以外においても中心市街地を訪れるリピーターを獲得し、中心市街地への来訪者の増加が期待されます。

■ 目標指標と目標値

中心市街地の歩行者と自転車の通行量（平日・休日の平均）を目標値とします。

目標指標	現況 (R4)	目標値 (R9)
歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均)	24,738 人	33,300 人

目標 02 芸術文化が香るまち

今後の取組方針

芸術文化と身近にふれあえる環境づくり

■ 今後の主な取組

佐竹史料館改築事業

建て替えによって、貴重な歴史遺産を後世に継承しながら、誰もが気軽に訪れ楽しむことができる施設を目指す

芸術文化のまちづくり推進事業

秋田ならではの芸術文化事業によるにぎわいの創出の好循環を図り、芸術文化のまちづくりを推進



■ 期待される効果

- ✓ 秋田市の歴史・文化を活かした都市型観光により交流人口の拡大が期待されます。
- ✓ 市のみならず、県内・県外の芸術関係者が目標とする発表の場を提供することにより、市民が芸術に触れる機会を拡充することができます。
- ✓ だれもが気軽に秋田市の芸術や文化に触れることができ、豊かな心を育み、秋田市に愛着を持つ人が増加することが期待されます。

■ 目標指標と目標値

芸術文化施設の利用者数を目標値とします。

目標指標	現況 (R4)	目標値 (R9)
芸術文化施設利用者数 (1日あたり)	1,782 人/日	2,300 人/日

※芸術文化施設は、あきた芸術劇場ミルハス、県立美術館、千秋美術館、佐竹史料館を対象

目標 03 暮らしたくなるまち

今後の取組方針

暮らしのための環境整備

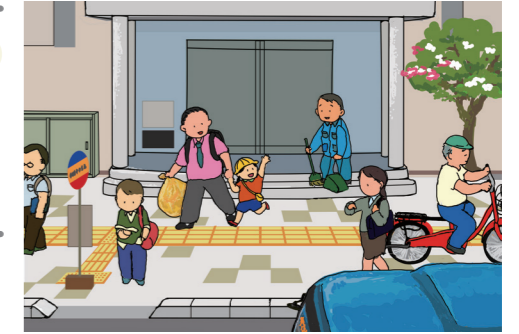
■ 今後の主な取組

秋田市住宅リフォーム支援事業

住宅リフォームへの支援により居住の継続を図り、マンション等の空き室の活用促進と移住促進による定住人口の増加を図る事業

千秋久保田町地区優良建築物等整備事業

中心市街地の低未利用地に、街なか居住の受け皿となるマンションを整備する事業



■ 期待される効果

- ✓ リフォーム等により既存の住宅を有効活用し、中心市街地の居住人口の増加が期待されます。
- ✓ 新たな道路網の整備や土地利用の高度化により、中心市街地への居住の促進が図られます。

■ 目標指標と目標値

市内総人口のうち中心市街地人口が占める割合を目標値とします。

目標指標	現況 (R4)	目標値 (R9)
市内総人口のうち中心市街地人口が占める割合	1.4 %	1.9 %

目標 04 チャレンジできるまち

今後の取組方針

商店街等の魅力向上と活性化への支援

■ 今後の主な取組

中心市街地等空き店舗対策事業

中心市街地への商業集積を促進し、更なる中心市街地のにぎわい創出を目指す事業

チャレンジオフィスあきたの運営

創業支援施設であるチャレンジオフィスあきたの運営を行う事業



■ 期待される効果

- ✓ 空き店舗や空きテナントが減少することで商店街の活性化が期待されます。
- ✓ これまでの店主に加え、新たにチャレンジする外部からの店主・事業主が増加します。
- ✓ 既存の商店街と新たなチャレンジの場が融合し、個性的で魅力あふれる商店街になることが期待されます。

■ 目標指標と目標値

商業集積促進関連制度の利用件数を目標値とします。

目標指標	現況 (H29~R3)	目標値 (R5~R9)
商業集積促進関連制度の利用件数 (累計)	181 件	181 件

目標 05 市民が作るまち

今後の取組方針

まちに関わりまちを楽しむひとづくり

■ 今後の主な取組

文化創造プロジェクト

秋田市文化創造館を拠点に、将来のまちづくりを見据えたソフトやネットワークづくり等の継続的な取組を実施する事業

市民協働・市民活動支援事業

秋田拠点センターALVE内の市民交流サロンにおいて、市民活動支援アドバイザーによる相談業務を行う事業



■ 期待される効果

- ✓ まちに来る人々が、主体的に楽しむことができる環境が形成されます。
- ✓ 市民が新たな活動を主体的に実施する場が提供されます。
- ✓ まちへのさまざまな関わり方、さまざまな人と人とのつながりが生まれ、中心市街地のにぎわい向上が期待されます。
- ✓ 市民活動による日常的なにぎわいの創出が期待されます。

■ 目標指標と目標値

市民活動等における施設利用の件数を目標値とします。

目標指標	現況 (R3)	目標値 (R9)
市民活動等施設利用件数	17,082 件/年	19,700 件/年

※対象施設は、にぎわい交流館AU、市民交流プラザ、市民交流サロン、秋田市文化創造館